

大会名 サンシャインカップ (キプロス)

BH RACING MTB TEAM 恩田祐一

日時 2月26日(木)～3月1日(日)

1STAGE XCT 71位

2STAGE XCP 51位

3STAGE XCP 62位

4STAGE XCO 66位

総合 63位

自分自身初となる、海外での UCI レース (4 日間のステージ) に参加した。
1 月いっぱいまでクロスカントリースキー選手として活動し、その後バイクに乗り換えて準備を行い、2 月 19 日よりキプロス入りをしていた。
初めての地という事で、戸惑う事も多々あったが、なんとかスタート位置に立つ事が出来た。

レースは 4 日間のステージレース。

初日は 5.7km のタイムトライアル。

前日の試走でタイヤをサイドカットしているの、しっかりとラインを見る事が重要になると考えていた。

気持ちの高ぶりとは裏腹に、スタートから体の動きが鈍くスピードが乗ってこない。下り等もトラブルはなかったが、あきらかにスピードが遅かった。

まだ高強度のトレーニングを今シーズン行っていなかったの、体のキレが全くなかった。

2 日目は 47.9km の XCP。

前日に体をあおったので、コンディションが上がっている事を期待してスタートしたが、なかなかリズムに乗れず、乳酸をなるべく出さないという走りに徹してしまった。シングルトラックの下りでは、前走者に付いていこうと思うが、全くスピードが違い、置いていかれ、さらに後ろの走者から何人にも抜かれる

かたちとなった。平坦区間も休む事無く踏みっぱなしだったが、なんとか自分のいたバックには付いていけたが、平坦でここまで踏んだのは初めてだった。

3 日目も 44.9km の XCP。

スタート直後から、あきらかに脚に疲労を感じ、最初からきつかった。前のバックに追いつきたいけど、追いつけないという時間が多く、精神的にもきつかった。シングルトラックの下りは、前日のように流れる感じではなく、スイッチバックの連続等、テクニックを必要とするコースだったので、全くと言っていいほどスピードに乗れず、女子選手にも抜かれてしまった。目の動きも悪く、ラインの見極めが出来なかった。後半は単独走になってしまったので、ゴールまでスピードに乗れず終わってしまった。

4 日目はスタートループ+5.9km x 5 周回の XCO。

相変わらずスタートの体の反応が悪く、順位を下げてレースに入ってしまった。試走が出来ず、コースを知らない状態で走っていたので、2 日目までは恐る恐るの展開だったが、前日までとは違い、平坦や上りで積極的に前に出る事をした。しかし、下りの度に前との差が開き、それを平坦や上りで詰め、また下りで離されるといふ繰り返しだったが、この 4 日間で一番コンディションが良かったので、出来るだけ前に行く事を意識したレースが出来た。

最終ラップに入る所で、80%ルールでカット。-1 ラップでレースを終えた。

初めてとなる海外での UCI レースだったが、自分の予想通り全く通用しなかった。特に下りでのスピードの差には愕然とした。

レースに対しての準備期間も足りず、まだ高強度でのスピードトレーニングが積めていない。それがスタートの体の反応、体の切れの悪さに繋がっていると思う。ただ、この点に関してはトレーニングを積んでいけば解決する問題だと思っている。

結果から得る物は何も無いかもしれないが、この地でレースを走らなければ、今回のようなコース、速さを経験出来なかったのは確か。

世界というものを体感出来た事は今後に関わるとし、繋げていかなければいけないと思う。この貴重な経験をさせてもらえる環境に感謝し、しっかりと前を見て、引き続き頑張りたいと思う。

バイク : BH / Ultimate 27.5
フォーク : SR SUNTOUR AXON WERX
タイヤ : SCHWALBE / RACING RALPH
ケミカル : **HOLMENKOL**
ヘルメット : Kabuto / ゼナード
グローブ : Kabuto/ PRG-3
サングラス : CARRERA / C-TF02 レンズ (NXT)
時計 : POLAR / RC3 GPS (心拍 MAX AVG)
ネックレス : SEV
ドリンク : グリコ / パワープロダクション
サプリメント : グリコ / パワープロダクション
インソール : ホシノ B+Insole
パーソナルスポンサー : アークコミュニケーションズ